

リステンプレート(結束線付)

施工要領書

日本リステン株式会社

〒509-5103 岐阜県土岐市泉東窯町 4-65

TEL(0572)53-4123

FAX(0572)53-4125

目 次

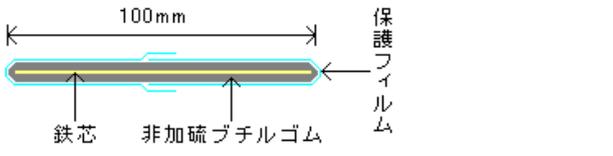
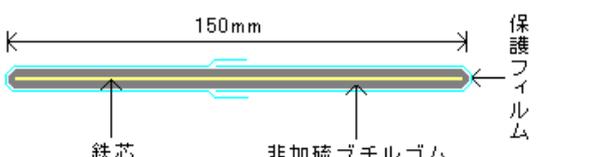
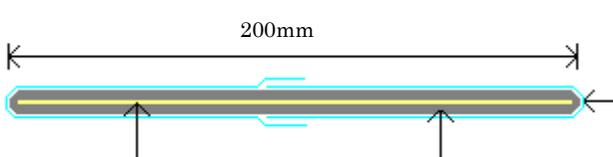
1.	リステンプレートについて	1
2.	止水板の形状	1
3.	副資材、使用量	2
4.	施工道具	2
5.	施工方法	3

1. リステンプレートについて

リステンプレートは鉄板による仕切りに、非加硫ブチルゴムの粘着性を付与した止水板です。

非加硫ブチルゴムはそれ自体の粘着性に加え、コンクリート内のCaO(酸化カルシウム)とイオン反応することにより、さらに強力に接着する性質を持っています。

2. 止水板の形状

商品名	形状	寸法(mm)
リステンプレート 100		W100×T6× 5,100
リステンプレート 150		W150×T6× 5,100
リステンプレート 200		W200×T6× 5,100

3. 副資材、使用量(目安)

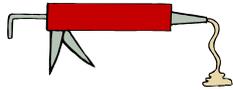
- ・ リステンボンド **US-3000(330ml)**

リステンプレートのブチルゴムが汚れた場合やその他充填箇所の補助材料

4. 施工道具



・ 金切りバサミ



・ コーキングガン

5. 施工方法（水平部）

- ① リステンプレートをコンクリート打設前に配筋の間に仮置きしてください。上被りフィルムが先打設側（下側）です。
- ② ジョイント部の養生フィルムを剥がし、100 mm程重ねて圧着接合します。接合後は養生フィルムを再度被せてください。

（図 1）

③（吊るし施工）

コン天レベルがリステンプレート中央に来る位置に吊るしていきます。吊るし作業後、先打設側（下側）フィルムを剥がしてください。先打設側フィルムを剥がした後、下側の結束線を固定してください。

（写真 1）

④（置き施工）

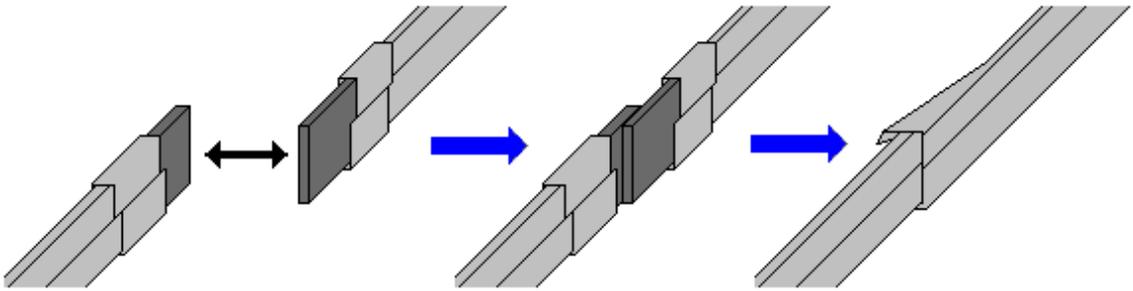
上部結束線を左右鉄筋に交互に固定してください。先打設側（下側）フィルムを剥がした後、下側結束線を固定していきます。

（写真 2）

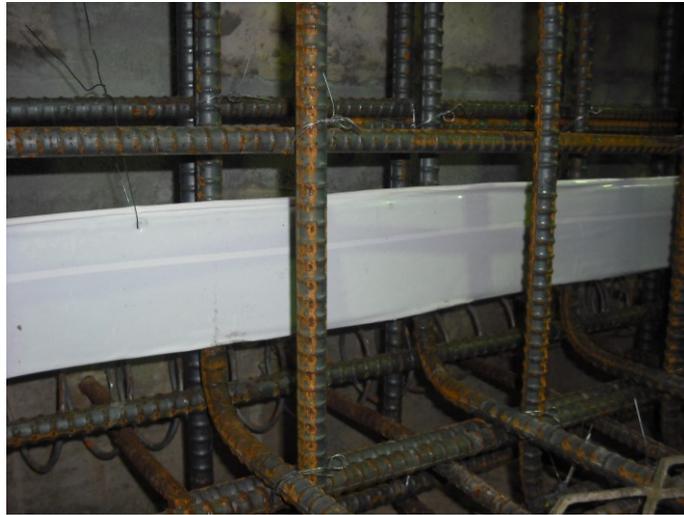
- ④ コンクリート打設時に上側の養生フィルムがコンクリートに埋まらないよう注意してください。リステンプレートが傾いた場合は立て直してください。コンクリート硬化後、上側フィルムを結束線を切断しながら剥がしていきます。

- ⑤ ブチルゴムが汚れた場合や、ジョイント部が離れてしまった場合は、リステンボンド US-3000 を塗布または充填して補修してください。曲がった箇所がある場合は元に戻してください。

(图 1)



(写真 1)



(写真 2)

